

ホームページ掲載文章

【2012年4月1日から2018年8月31日の間に当院にて感染性脊椎炎のためMist手術を受けられた患者さんへのお知らせ】

課題名：感染性脊椎炎に対するMistの有用性

1. 研究の対象

2012年4月1日から2018年8月31日の間に当院にて感染性脊椎炎のためMist手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2012年4月1日から2018年8月31日の間に当院にて感染性脊椎炎と診断され、より低侵襲に脊椎を安定化する手技の最小侵襲脊椎安定術（MIST）を受けられた患者さんの経過を検討するための後方視的調査研究を実施します。本研究では、診療録や問診票、X線・CT・MRI画像・脊髓造影像を使用して、本術式における感染の鎮静化、症状の早期改善、椎体変化の予防の状況について検討することを目的としています。本症における最終手段として考えられていた手術を低侵襲下にかつ早期に行うことは、高齢者や易感染性宿主に対してなど広く手術行うことを可能とし、その結果、術後のADL（日常生活動作）の低下を防ぎ、入院期間の短縮や術後のQOL（生活の質）の維持に寄与できると考えます。

研究期間は倫理委員会承認日から2020年3月31日までです。研究結果は論文や学会等で発表いたします。研究に関するデータは論文等の発表から5年後に廃棄いたします。既存資料のみを用いる研究であるため、新たに人体試料の採取や治療介入を行うことはありません。また、個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。患者さんに負担が生じることはありません。また、経済的負担・謝礼はありません。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：病歴、問診票、検査画像、年齢 等

4. 研究に関してご質問がある方、また、対象の患者さんのうち、データを使用されたくない方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

5. 本研究における利益相反については、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。

問い合わせ先：研究責任者 川崎医科大学 脊椎・災害整形外科 渡辺聖也
〒701-0192 倉敷市松島 577
TEL : 086-462-1111 FAX : 086-464-1175
電子メール : seikei@med.kawasaki-m.ac.jp